

第3章 国家・社会の形成者って、自分のことだよ

(1) 意見を表明することって大切

自分はこれがいいって思っているけど、
ほかの人はそう思っていないってことって結構ありますよね。
反対もね。

だからこそ、「伝える」ことって大切なんです。



教室で、家で、友達同士で、いろんなところで
自分の考えをうまく伝えられているかな？

そうならいいなって思って言ったけど、
そこまでのつもりはなかったのに…
断ったつもりだったのに、賛成したことになってる。



うまく説明できないな。
なんでみんな、そんなこと言うんだろう。
考え方が違うと、感情的になってしまう。
けんかするくらいなら、私が我慢しようか。

自分に都合のいいことしか受け付けられない「**確証バイアス**」(*1) や、
変化が起きているにもかかわらず正常の範囲内だって考える
「**正常性バイアス**」(*2) っていう言葉があるくらいなもの。
考えを伝えるって難しい。

答えがはっきりしている問いは、
知っていれば、答えやすい。

〇〇地域は、
砂漠気候です。

$4 \times 3 = 12$ です。

電流は電圧に
比例します。

*1 確証バイアス…自分の願望や信念を裏付ける情報を重視・選択し、これに反証する情報を軽視・排除する心的傾向のこと。

*2 正常性バイアス…異常事態に直面しても正常の範囲内であると判断し、平静を保とうとする人間の心理傾向のこと。



じゃあ、
「駅前の違法駐輪をなくすにはどうしたらいい？」
には、どう答える？

駐輪場を増やすことです!!



駐輪場にする
場所はどこの？

建築費用は？

そもそも何台分
足りないの？

駐輪場増えたら、
みんなちゃんと
止めるの？

駐輪場は
有料にするの？
無料なの？

疑問はたくさん出てきます。
その1つ1つを検証することが大切で、
いろんな角度から、考えることが必要になりますよね。

だからこそ、これが Point!!

- **根拠を持って説明することが大切。**
「…なことから、…と思い(考え)ます。」
- **異なる立場の意見の根拠を知り議論しよう。**
まずは異なる意見について聞くこと、知ること。
それから、互いに話そう。
- **1つの結論を出すよりも、結論に至るまでの
冷静で理性的な議論の過程が重要。**
無理やり結論を作ってない？
結論が出ないのが、悪いことじゃない。
問題なのは、議論をしたことにして、いい加減に決めてしまうこと。



YONONAKA はそんなに単純じゃない。

だって、みんなもそんなに単純じゃないでしょ？

(2) 「YONONAKA」に関わろう

学校のこと。

- 制服のスカートをはきたくない友達のこと。
- 自転車通学で路上駐車の人にぶつかりそうになったこと。
- 地元食材を生かしたメニュー開発に取り組んだこと。

近所のこと。

- 閉店した店が多くなった商店街のこと。
- 地元イベントがケーブルテレビで見られるようになったこと。
- 公園で遊んでいる子供の姿をあまり見かけなくなったこと。

高校生だから、

見える

YONONAKA

ってありますよね。



家族のこと。

- 大学卒業したら帰るって言ってたお姉ちゃんが東京で就職したこと。
- 甥っ子がむちゃくちゃかわいいけど、保育所の空きがなくて、お兄ちゃんが必死に保育所を探していること。
- 認知症になったおじいちゃんがデイケアで楽しそうにしていること。

そういえば、教科書や資料集にもあったのかも。

「ふ〜ん、そうなの。」って、“教科書の中だけ”って思っていない？

結構、みんなの周りにはあるんです。

「でも、私が考えたって、かわらないんじゃない？」

って思っているあなた!!

高校生(中学生)が YONONAKA をかえた(かえようとした)こともあるんですよ。

例えば…

長野県松本工業高校1年生のクラスで作成した、「駅のバリアフリー化」や「市中心部の無料駐輪場の整備」などを求める請願は、松本市議会の本会議で採択されました。

高松市の高校生は、インターネットとコンピュータゲーム利用時間を規制した県の条例が憲法の権利を侵害しているとして、600 筆余りの反対署名を集めて議会に提出するとともに、県を提訴しました。

探せば、いっぱいあるはずですね。

徳島でも、地域の特産品づくりや高校生議会に参加したっていう友達もいますよね？

「でも、発信しても、あまりなにもかわってないよ。」

「ほ～ら、やっぱり。言ってもかわらないなら、何もしなくても一緒だよ。」

本当にそうでしょうか？

意見を言わないってことは、今のままでいいってことになるのです。

「こうなったらいいな。」

「こうしたら、もっといいのに。」

ここに横断歩道が
あったらいいのに。

図書室に自習スペースが
ほしいよ。

もっと、人が集まる
イベントがあればいいのに。

そう思うことはたくさんあるんじゃないでしょうか。



商店街にお客さんがもっと来ればいいのに…。
って、私たち高校生もお客さんだよな。
どんなお店があったら行くな？

エシカル消費？
市場調査？
地域活性化？

消費者の
権利と責任？
メディア
リテラシー？

エシカル消費とかフェアトレードとか、最近よく
聞くよね。
みんなどんなことやってるのかな。
SNSで聞いてみようよ。



卒業した小学校がなくなっちゃった。
建物は壊してしまうの？
デイケアの施設とかになったら、おじいちゃんも
近くて楽だよな。
建物だけでも残してくれたらいいな。

少子化？
高齢化？
公共施設の
活用？

道路標識の課題？
文化財の活用？
グローバル化？

最近、外国人のお遍路さんをよく見かけるな。
でも、そっちの道は遠回りだよ。
標識は日本語だけだから、
僕が話しかけた方がいいのかな？



思ったことがすぐに実現するとは限らないですね。
まして、あなたが思ったことじゃない結果になることもあります。



「この結果になったのは、なぜなんだろう?」「私の考えとどこか違うのだろうか?」
と考えること。

また、決まったことに対しても、決まったら、それで終わりじゃないし、
意見を決めた後、表明した後でも、意見がかわってもいい。



みんなの意見も、
1年生の時、2年生の時、3年生の時、卒業したら、
就職したら、10年後、20年後、
ずっと一緒に意見だと、おかしいよね。

だって、そのために学校で勉強しているんだもの。
わからなかったことがわかるようになって、
できなかったことができるようになって、
見えなかった世界が見えてくるようになる。
わからないままでも、できないままでも、
考えていたら見えてくる世界もある。



考えなきゃいけない、決めなきゃいけないと思うと、
面倒くさくなって、逃げ出したくなる時もある。

誰かに決めてほしいときもあるかもしれない。
だけど、結論は出なくても、考え続けることが大切。

自分のことは、自分で決める。
そう、自分のことだから、無関心をなくそう。



「国家・社会の形成者」って聞くと、大げさかもしれないけど、
「YONONAKA の一員」ってこと。

私たちは「家族の一員」「学校の一員」「クラスの一員」
「〇〇駅を利用する一員」…いろいろな一員になっている。

受け身じゃなくて、自ら意見も言うし、行動もする。
参画している一員ってことが、「形成者」ということ。

YONONAKA をつくるてだてを身に付けて、行動に移そう!!

18歳で選挙権を得て、投票するのもその一つだけど、
それが全てじゃあない。

目指す YONONAKA の実現のため、
立候補してもいい。

消費者問題にもっと積極的に
関わってもいい。

ほかにも、会社や NPO を立ち上げたり、
ボランティアで地域の活動に関わったり…。

これって、
「将来、
何になりたい？
何やりたい？」
ってことだね。



考えた分だけ、試した分だけ、
行動に起こした分だけ、みんなの YONONAKA はかわる。

1つだけ言えること。
みんなの声を届けて(意見を表明して)も、
必ず意見がとおるものではないけれど、
みんなの声を届けなければ、かわることはないということ。

第1章で考えた、文化祭の出し物に置き換えて考えるとどうだろう？

● どれだけかかる？

何をするにしても、クラス費を集めますよね。

(学校で決められていることが多いけど、) いくらくらいが妥当でしょうか？

一人あたり500円？

これが「税金」に当たります。

40人のクラスなら、
合計20,000円

これが「予算」に当たります。

● 何がしたい？ 何ができる？

やりたいことを考えます。

これが「世論」に当たります。

みんなが
考えていること

この予算では、衣装を揃えるのは難しいから、
一人あたりの集金額を増やしたいな...

内容決めるのは無理
誰か決めてくれたら
手伝うよ~

衣装は制服で十分
それより、
舞台の大道具に
予算使いたいけど...

歌もダンスも
下手だから、
私なんかが
意見言う資格
ないもん

ダンスの曲、
私が
編集するから
曲選ばせて

衣装とか大道具とかに凝るより、
きちんと練習した方がいいよ
分担を決めて、班長を決めた方がいいと思う
舞台上で立っているだけはいやだ

フリマで不要品を売って
その代金を「予算」にして、
集金をなくそうよ...

衣装を揃えるのは難しいから、
布買ってネクタイだけ
自分たちで作ろうよ



みんながそれぞれ持っているやりたいこと(「世論」)を、
40人のクラスで、みんなで話し合うことができるとすれば、

それは「直接民主制」ということになります。

人数が多い場合、全員が集まって話し合うことが不可能であれば、
代表者が自分たちに代わって話し合いをすることになり、
これが「**間接民主制**」ということになります。

この代表者を選ぶ行為の一つに「**選挙**」があり、
代表予定者がやりたいこと(「**政策**」)を、当選したら実行しますと公表していれば
それは「**選挙公約**」ということになります。

思っている、声を届けないと伝わらない。



よく知っている人だけが意見を言えるんじゃなくて、
誰もが YONONAKA に意見を言おう!!

だから、クラスで出し物を決める時のように、意見を伝えよう。

でも、
自分の考えに近い意見を選ぶという行動が投票なら、
どうやって選んで投票したらいいのだろう？



もし、自分の考えに近い意見がなかったら、
あなたは どうする？

私は

します。



例えば、
投票しないでおくことは、どんな結果が出ても、
その結果を認めますってことだと思うんだ。

極端な話、100人のうち、あなたを含む90人が投票せずに、
残りの10人すべてが、あなたが“絶対反対”って思っていた意見に投票したら
どうだろうか。



あなたはその結果を受け入れることができる？

私は

します。



じゃあ、どうやって考えて、決めたらいいのだろう…
そんな時、学校で学んだことがチカラになると思うんだ。

例えば、

順序立てて考える力(論理的思考力)

根拠を明確にして説明する力(統計の扱い方)



数学



観察・実験をしてその結果をまとめ発信する

(仮説を科学的に検証し、その結果について説明する) などなど…

知識を得ることも大切なことだけど、

学んで身に付けたチカラでもって、自分なりに考えることも同じように大切なんだ。

試験のためだけに勉強してるんじゃ、ないんだ。(実際、試験は大変だけど…ね)

社会に関わるため！でもあるんだ。

だから、得たチカラを、「選挙での投票」に当てはめてみるとどうだろう？



だからこそ、これが Point!!

① 主張を確認する

主張のもととなるデータは、客観的なデータに基づいているのかな？

② 主張に対する様々な立場からの意見を確認する

資料やデータを集めて、比較する。

同じ発言でも、新聞やTV等によって違って見えることをわかって、複数を比較する。

(メディアリテラシー^(※3))

※3 メディアリテラシー…一般国民が多様なメディア(インターネットやSNS、テレビ、新聞など)を批判的に使いこなし、主体的に読み解く能力を身に付けること

③ 自分の意見が、どの意見に一番近いかを考える

項目ごとに確認をする。

(選挙によっては「vote match」で検索すると、クリックするだけで一番考えが近い政党等を選んでくれるサイトがある。誰かが作ったサイトだから、活用するにはメディアリテラシーも必要になる。)

そして、大切なこと…

④ 選んで投票する

1つに決めて投票する。何を選んでも、誰を選んでも、あなたにとって正解だから、あなたの意見を届けることが大切なんだ。

中学生の時、見えてた景色が、高校生になると違って見える。

1年生と2年生では違うし、もちろん3年生になればもっと違う。

そして、高校を卒業すれば、20歳になれば、30歳になれば…それぞれで違って見える。だから、

きっと

YONONAKA はおもしろい。

- ・社会をつくるって、自分をつくること
- ・自分がかわると、社会がかわるよ



あなたは高校を卒業したら、何をしたい？

20年後、30年後には、何をしたい？

そしてその時、どんな YONONAKA にしたい？

高校を卒業したら、

その時は、

をしたい。

な YONONAKA にしたい。



()年後には、

その時は、

をしたい。

な YONONAKA にしたい。



かえるのは私 かわるのも私 私の未来は私がつくる!!

このワークシートは、ハンドブック「18歳で成年になる皆さんへ『私がかわる「社会(YONONAKA)」がかわる！私がかえる「社会(YONONAKA)」をかえる！はじめの一步!!』(徳島県教育委員会)を再編集したものです。

※引用・参考文献 佐伯胖監修『どんな方法があるの？ 決め方の大研究 ジャンケンから選挙まで』2012

総務省・文部科学省『私たちが拓く日本の未来』『同 活用のための指導資料』

注釈は『デジタル大辞泉』『政治・経済用語集』(清水書院)を参考にしています。